

## &lt; 全体会 (10:00~12:30) &gt;

## ◇ 「市民の政府」を創る ◇

地方分権、自治体自立が叫ばれる中、市町村合併が進み、道州制への胎動も始まった21世紀初頭。今こそ、多様な地域ガバナンスの主体が協働し、市民の自律的な統治機関である「市民の政府」を創り出していく途を考えたい。

## ●パネリスト

早稲田大学大学院(前三重県知事) 北川正恭  
横浜市長 中田 宏  
恵庭市長 中島興世  
滋賀県環境生活協同組合 藤井絢子

## ●コーディネーター

法政大学名誉教授(自治体学会顧問) 田村 明

## &lt; 分科会 (13:30~16:30) &gt;

## ◇分科会1 「市民の政府」の構想 ～市民と自治体の新展開～◇

現在、多様な地域ガバナンスの主体が台頭している。機関としての自治体から、市民の自律的な統治機関としての「市民の政府」への転換が問われている。先駆的な実践例を踏まえて、議論を深め、新たな構想を描き出したい。

## ●パネリスト

福嶋浩彦(我孫子市長)、  
須田春海(市民活動全国センター)  
岸本幸子(パブリックリソースセンター)  
市村次夫(株小布施堂、株榎一市村酒造場)  
木原勝彬(ローカルガバナンス研究所)

## ●コーディネーター

廣瀬克哉(法政大学)

## ◇分科会2 持続可能な地域社会をつくる ～人口減少時代をむかえて～◇

昨年、全国の総人口は戦後初めて減少した。これが、地域社会にどのような影響を及ぼすか。「市民の政府」はどのように向き合うか。この「人口の自然減」をもたらしている要因についての基礎的理解を踏まえ、一方では人口減少を抑えるための施策、例えば次世代育成や子育てをし易い地域空間、他方では少ない人口で地域社会を運営していく施策、例えば、コンパクト・シティや多様な公共サービスの担い手を議論して、持続可能な地域社会形成へ問題提起をしたい。

## ●パネリスト

佐々井司(国立社会保障・人口問題研究所)  
原美紀(NPO法人びーのびーの)  
姥浦道生(大阪市立大学)

## ●コーディネーター

沼尾波子(日本大学)

## ◇分科会3 自治の制度を検証する ～自治基本法への展望～◇

戦後憲法の制定から60年を経た今でもなお、明治

## ●パネリスト

の市制・町村制のシクミを色濃く残している「地方自治」は、市民自治を担う「地域政府」を支えるに足りるものだろうか？本分科会は、市民の信託による「地域政府」として「自治体」を再構築していくために、現在の自治制度を検証しつつ、新たな自治のシクミの基本的ルールとしての「自治基本法」を展望する。

河崎民子(NPO法人ケアびーくる、元大和市自治基本条例を作る会副会長)  
佐藤忠義(横須賀市議会議員)  
森下隆生(伊勢市長)  
●コーディネーター  
辻山幸宣((財)地方自治総合研究所)

#### ◇分科会4 自治と平和 ～暮らし・まちづくり～◇

市民は平和に人間らしく生き・暮らしていく権利をもち、自治体はこれを保障する責務がある。地方分権の視点から、安全保障を国の専管事項として自治体と切り離さず、関与を前提とし、「市民の政府」を創るために何ができるか考えてみたい。

●パネリスト  
沖縄県読谷村職員  
梅林宏道(ピースデポ)  
牛山久仁彦(明治大学) 他  
●コーディネーター  
鳴海正泰(関東学院大学)

#### ◇分科会5 「新・地方の時代」は可能か ～長洲神奈川県政の検証から～◇

長洲神奈川県知事が「地方の時代」を提唱して約30年。自治体学会が生まれ、2000年分権改革も行われたが、「地方の時代」は実現したのだろうか。長洲県政と神奈川の自治体はその実現にどういう役割を果たしたのか。過去を振り返る中から「新・地方の時代」を展望したい。

●パネリスト  
後藤仁(神奈川大学、元神奈川県職員)  
鈴木祐司(法政大学)  
端山慶子(NPO 法人みんなでつくる平塚)  
土山希美枝(龍谷大学)  
●コーディネーター  
磯崎初仁(中央大学)

#### ◇分科会6 地域づくりの20年 ～過去・現在・未来～◇

自治体学会が発足した20年前、「地域づくり」が全国的な潮流となろうとしていたときでもあった。この分科会では、湯布院のまちづくりをリードしてきた中谷健太郎さんをはじめ、それぞれの地域で活躍している方々により、地域づくりへの思いと今後のあり方について議論したい。

●対談者  
中谷健太郎(湯布院温泉「亀の井別荘」)  
岡崎昌之(法政大学《自治体学会代表運営委員》)  
●パネリスト  
岩本剛(熊本県宮原町)  
菊池新一(遠野市)  
中谷健太郎  
横石知二(株)いろどり  
●コーディネーター  
岡崎昌之(法政大学《自治体学会代表運営委員》)

#### ◇分科会7 風景デザインの最前線 ～自治体景観行政の展望～◇

自治体学会の重要なテーマとして議論されてきた景

●パネリスト

観まちづくりについて、これまでの各地の取り組みを総括するとともに、景観法の活用も視野に入れ、自治体における今後の景観行政のあり方について展望する。分科会終了後、希望者により会場周辺の街歩きを行う予定(詳細は、天候や参加者数を考慮し当日決定)

- 国吉直行(横浜市)
- 原孝吏(倉敷市)
- 山本真也(函館市)
- 益永律子(まち景まち観フォーラム・茅ヶ崎)
- コーディネーター  
佐藤滋(早稲田大学《自治体学会代表運営委員》)

### ◇分科会8 新たな社会保障と市民の暮らし ～ソーシャル・キャピタルが支える安心～◇

社会保障と経済社会が相互に影響し合う中、持続可能な社会保障制度の再構築が急務となっている。家族やコミュニティの弱体化は、規範・信頼関係に影響し、社会的リスクに対する調整機能を後退させている。誰が、どのように市民生活を支えられるのか、各主体の役割は、そしてローカルガバナンスが安心社会を形成していく可能性を探りたい。

- パネリスト  
小川泰子(ラポール藤沢)  
道上正寿(岡山県西粟倉村長)  
滝上宗次郎(有料老人ホームグリーン) 他
- コーディネーター  
新藤宗幸(千葉大学)

### ◇分科会9 安全・安心のまちづくり ～地域コミュニティ再生の試み～◇

現代都市における災害危険・犯罪被害の増加に対し、都市空間の安全性の強化や都市生活におけるコミュニティの見直しが求められている。ここでは住民による実践的な取り組みを中心に、「安全・安心のまちづくり」を支える地域コミュニティの再生について考える。

- パネリスト  
浜田甚三郎(首都圏総合計画研究所)  
山本俊哉(明治大学)  
中村順子(NPOコミュニティサポートセンター神戸)  
杉山博之(小田原市)
- コーディネーター  
林泰義(NPO玉川まちづくりハウス)

### ◇分科会10 市民社会の担い手になる ～「参加」によるエンパワーメント～◇

市民社会の担い手に求められる具体的な人間像、市民社会を実現するために必要なスキルの学び方、シチズン・リテラシーの技術などをガバナンスへの「参加」の実践例から考え、市民のエンパワーメントのメカニズムおよび市民の政府を支える主体のあり方を探る。

- 問題提起者／討論者  
秋田光彦(上町台地からまちを考える会、浄土宗應典院住職)  
正満たつる子(元みたか市民プラン21会議)  
山口祐子(NPO法人浜松NPOネットワークセンター)
- コメンテーター  
相川康子(神戸新聞論説委員、NPO政策研究所)
- コーディネーター  
白石克孝(龍谷大学)

### ◇分科会11 市民・NPOと行政の関係づくり ～「市民の政府」に向けたNPOの自立と協働～◇

「市民の政府」の実現のためには、市民・NPOの自立が欠かせない。このため、特にNPOが財政的な自

- パネリスト  
中村久子(神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会)

|   |  |
|---|--|
| <p>立を確立していくために必要な社会の仕組みづくりについて議論し、真の意味での市民・NPOと行政との対等な関係や協働のあるべき形を模索する。</p> | <p>米田佐知子(NPO法人神奈川子ども未来ファンド)<br/>寺沢和博(市川市)<br/>●コーディネーター<br/>坪郷實(早稲田大学)</p> |
|---|--|

### ◇分科会 12 自主研究グループの新展開 ～ソーシャル・キャピタルが支える安心～◇

|   |   |
|---|---|
| <p>自治体の活力を高めるためには、職員の自主的に行っている研究会での取り組みが重要である。自治の現場での問題や課題、不満や疑問を若手から中堅職員までもが一体となって議論する研究会の場をいかに作り出し、継続的に展開していけるかを考えたい。</p> | <p>●パネリスト<br/>片山健也(ニセコ町)、荒川俊雄(寝屋川市)<br/>小口進一(国分寺市)<br/>●コーディネーター<br/>秋元政三(元三鷹市市民部長)</p> |
|---|---|

### ◇分科会 13 ローカル・マニフェストの新展開 ～地域コミュニティ再生の試み～◇

|  |   |
|--|---|
| <p>マニフェストをめぐる新たな課題や、市民によるマニフェスト評価の動き、韓国の「5.31マニフェスト選挙推進運動」のホットな情報など、最新事例をもとにローカルマニフェストの新しい展開を探る。</p> | <p>●問題提起<br/>井上良一<br/>(神奈川ローカル・マニフェスト推進ネットワーク)<br/>●ディスカッション<br/>林紀行(早稲田大学マニフェスト研究所)<br/>松野豊(流山市議会議員)<br/>長野基(LM評価研究委員会)<br/>河東賢(慶應大学大学院生)<br/>池田健三郎((社)日本青年会議所神奈川ブロック協議会行動力向上委員会)<br/>●コーディネーター<br/>加藤ひとみ(自治創造コンソーシアム)</p> |
|--|---|

## < その他 >

#### ◇ポスターセッション 8月24日(木)10:30-25日(金)12:00◇

地域ブロック単位、個人・団体の報告書などの配布・展示、自治体の取組みの紹介、出版物の展示・配布等を通して、参加者が交流・意見交換できる場としてポスターセッションを開催します。

#### ◇エクスカージョン 8月25日(金)-26日(土)◇

神奈川県実行委員会では、まちづくりの現場を訪ねていただき、現場で活躍する市民の方々と交流し、神奈川の自然や歴史・文化に直接ふれあっていただく企画として、次の3コースを実施いたします。

① 邸園文化を訪ねて～こゆるぎの里から～ <大磯・小田原・箱根地区>

② 現代の大山講～大山のまちづくり～ <伊勢原市>

③ 川崎の産業観光～臨海部の再生、観て、学ぶ、ものづくり～ <川崎市臨海部> (26日(土)日帰り)